

50013 家庭科教育法Ⅲ Teaching of Home Economics III		3年次～ 前期 2単位																	
担当者	扇澤 美千子	履修可能学科	F																
		関連資格	教職必(F)																
サブタイトル																			
授業内容 ・ ねらい	<p>高等学校における家庭科教育では、男女ともに自立した生活者として必要な基礎教養を獲得すること、生活文化の継承、生活力を育てる主体作りをすることを目指しています。ここでは、高等学校における家庭科教育の変遷と意義、目標、指導要領の改訂等について解説し、中学校家庭科教育の内容を踏まえながら普通教科「家庭」（家庭基礎、家庭総合、生活技術）及び専門教科「家庭」（19科目）の構成と履修方法、それぞれの科目のねらいと内容、指導のポイントを検討し、実際の授業のあり方、評価の方法についても概説します。さらに、20年度に告知された新学習指導要領についても触れ、移行期および実施時期について解説します。</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 高等学校家庭の変遷</td> <td>9. 指導計画の作成</td> </tr> <tr> <td>2. 教育課程の意義及び編成の方法</td> <td>10. 内容の取扱いと指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>3. 基本方針と改訂のポイント</td> <td>11. 学習指導のポイント</td> </tr> <tr> <td>4. 家庭分野改訂のねらい</td> <td>12. 評価の方法</td> </tr> <tr> <td>5. 「家庭科」の目標</td> <td>13. 家庭科と他教科との関連</td> </tr> <tr> <td>6. 普通教科「家庭」及び専門教科「家庭」</td> <td>14. 新学習指導要領について</td> </tr> <tr> <td>7. 内容解説</td> <td>15. 自立した生活を目指して</td> </tr> <tr> <td>8. 中学校家庭科との関連</td> <td></td> </tr> </table>			1. 高等学校家庭の変遷	9. 指導計画の作成	2. 教育課程の意義及び編成の方法	10. 内容の取扱いと指導上の留意点	3. 基本方針と改訂のポイント	11. 学習指導のポイント	4. 家庭分野改訂のねらい	12. 評価の方法	5. 「家庭科」の目標	13. 家庭科と他教科との関連	6. 普通教科「家庭」及び専門教科「家庭」	14. 新学習指導要領について	7. 内容解説	15. 自立した生活を目指して	8. 中学校家庭科との関連	
1. 高等学校家庭の変遷	9. 指導計画の作成																		
2. 教育課程の意義及び編成の方法	10. 内容の取扱いと指導上の留意点																		
3. 基本方針と改訂のポイント	11. 学習指導のポイント																		
4. 家庭分野改訂のねらい	12. 評価の方法																		
5. 「家庭科」の目標	13. 家庭科と他教科との関連																		
6. 普通教科「家庭」及び専門教科「家庭」	14. 新学習指導要領について																		
7. 内容解説	15. 自立した生活を目指して																		
8. 中学校家庭科との関連																			
教科書 参考書	<p>教) 『高等学校学習指導要領解説 家庭』 教) 『新家庭基礎 ともにいきる くらしをつくる』（教育図書）</p>																		
評価方法	授業・発表態度、レポート、出席状況、試験等により評価します。																		
事前準備学習 履修条件等																			